



## 1. カルスボ祭(文化の部)をおこないました。

9月22日(金)、カルスボ祭(文化の部)をおこないました。新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「2類」から「5類」に移行されたため、今年度は、コロナ禍前と同様に、体育館に全学年生徒がつどい、それぞれの発表を観賞しました。また、保護者や PTA の広報委員、学校評議員のみなさんも、朝早くから来校していただき、子どもたちを応援していただくことができました。

1年生はホリゾント制作や調べ学習の展示、2年生、3年生は合唱、その他、吹奏楽部の演奏や美術科の作品展示などに取り組みました。取組を進めるにあたっては、学年閉鎖や学級閉鎖などで十分に取組む時間が確保できなかったにもかかわらず、どの取組も子どもたちの一所懸命さが伝わるとも素晴らしいものでした。

子どもたちは、この取組を通じて、「熱中すること」、「責任を果たすこと」、「感謝すること」、「誠実に取り組むこと」、「仲間を信じること」、「仲間と協力すること」など、大切なことを学ぶことができたと確信しています。是非、この学びを次のカルスボ祭(体育の部)に活かして欲しいと思っています。

## 2. カルスボ祭(体育の部)をおこないます。

10月18日(水)、カルスボ祭(体育の部)をおこないます。カルスボ祭(文化の部)同様に、保護者のみなさまは参観していただくことができます。是非、子どもたちの頑張りを間近でご覧いただきたいと存じます。

なお、PTA 広報ご担当の方のご協力のもと、「PTA だより」にカルスボ祭(文化の部・体育の部)の様子を掲載していただく予定です。後日配付される「PTA だより」を楽しみにしていただけると幸いです。

子どもたちの取組はすでに始まっています。その様子は、本校のブログでも随時、発信しますのでこちらもご覧ください。よろしくお願いいたします。

## 3. 非認知能力(目に見えない力)の向上

本校では、子どもたちの非認知能力(目に見えない力)の向上に力を入れています。非認知能力とは、アメリカの経済学者、ジェームズ・ヘックマン教授の研究によって提唱された言葉だそうです。学力や IQ などの数値で測れる能力(認知能力)に対し、意欲やコミュニケーション力といった数値では測れない能力を「非認知能力」と定義されています。

さて、カルスボ祭(文化の部・体育の部)のような学校行事は、普段の子どもたちの意欲や頑張りなどの非認知能力(目に見えない力)を保護者のみなさまに見ていただける絶好の機会ととらえています。普段の子どもたちの成績は、定期テスト毎に保護者のみなさまにはお伝えしていますが、定期テストの結果などでは伝えきれない、子どもたちの非認知能力(目に見えない力)を目の当たりにしていただく機会が学校行事です。是非、各ご家庭において、数値では測れない子どもたちの意欲や頑張りなどの非認知能力(目に見えない力)着目し、賞賛していただければ幸いです。

また、保護者のみなさまには、学期ごとに、通知表の成績と合わせて「所見」というかたちで、文章により、子どもたちの学校生活における意欲や頑張りなどの非認知能力(目に見えない力)をお伝えしますので、各ご家庭における話題の一つにいただければ幸いです。